鴻巣市立大芦小学校　学校だより　令和６年４月８日

お　お　あ　し

第１号

《　大芦小ＨＰ　https://oashi-e-konosu.edumap.jp/　検索　》

球春到来、新しいシーズンの幕開けです

麗らかな春の日差しに包まれ草花も色鮮やかに咲き誇り、様々な生命の息吹を感じられる季節となりました。本日は、お子様のご入学そして進級おめでとうございます。今年度は１６名の新１年生を迎え、全校児童１０５名でのスタートとなります。新学期を迎え、学年が１つ上がったことに喜びと自負をもち、期待に胸を膨らませていることと思います。改めまして今年度も引き続き校長を務めます横尾　臣（よこお　しん）と申します。また気持ちを新たに前進していけるよう尽力いたしますので、令和６年度もどうぞよろしくお願いいたします。

さて本校では、学校教育目標である「自分から意欲的に活動し、心豊かでたくましい大芦小の子を育てる」に向けて、めざす学校像を『大芦大好き！みんなの笑顔が輝く学校』と設定しました。学校生活の象徴である「児童」の笑顔が輝くことはもちろんのこと、保護者も、地域の皆様も、そして教職員も笑顔で生活できる学校を目指します。そのためには、学校に集う誰もが「居がい・やりがいをもてる」場所となるようにすることが求められます。まずは児童一人一人の良さを認め、力を発揮できる場を提供し、それが思う存分にできる学校の風土を醸成・維持できるよう努めていきます。そして教職員全員で１０５名の児童を育んでいくという強い意識のもと、「家庭」（家庭教育）「地域」（社会教育）の強力なバックアップを得ながら三位一体の充実した教育活動を展開し、結果的に「通って良かった・通わせて良かった・勤めて良かった」学校となるべく、教職員一丸となって精一杯取り組んで参ります。どうか今年度も、保護者、地域の皆様の一層のご理解、ご支援、ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

表題「球春到来、～」は本来、プロ野球開幕に向けての練習が再開される２月１日のキャンプインを指すことが多いようですが、この言葉の使い方に正式な決まりはないようです。いずれにしても、「野球ファンの誰もが待ちわびていた季節の到来」の意味として捉えてよいのかと思います。となれば学校が始まるこの４月は、「学校が大好きな方々にとって、まさに球春到来となるのでは」ということになぞらえています。多くの児童や保護者、地域、そして教職員が、きっとこの日をずっと心待ちにしていたのではないかと期待を込めて表題を付けました。プロ野球のチームの成績や選手個人の記録も、昨年度の成績が良かったにしろ悪かったにしろ、新しい開幕にあたっては全員が０（ゼロ）からのスタートとなります。どの学年も新たな気持ちで「開幕ダッシュ」を決めていきましょう。

学校教育目標	自分から意欲的に活動し、心豊かでたくましい大芦小の子を育てる
目指す児童像	進んで学ぶ子（知育）　思いやりのある子（徳育）　やりぬく子（体育） （意欲いっぱい）　（笑顔いっぱい）　（元気いっぱい）
目指す学校像	大芦大好き！　みんなの笑顔が輝く学校
学校経営方針	確かな学力を身につけた、自立した子どもの育成を目指す。【自立】 全教職員が協力し合い、団結して教育目標の実現を果たす。【団結】 家庭・地域と連携を深め、地域に根差した教育を行う。【連携】 命を大切にする教育を進める。【生命】

（校長　横尾　　臣）